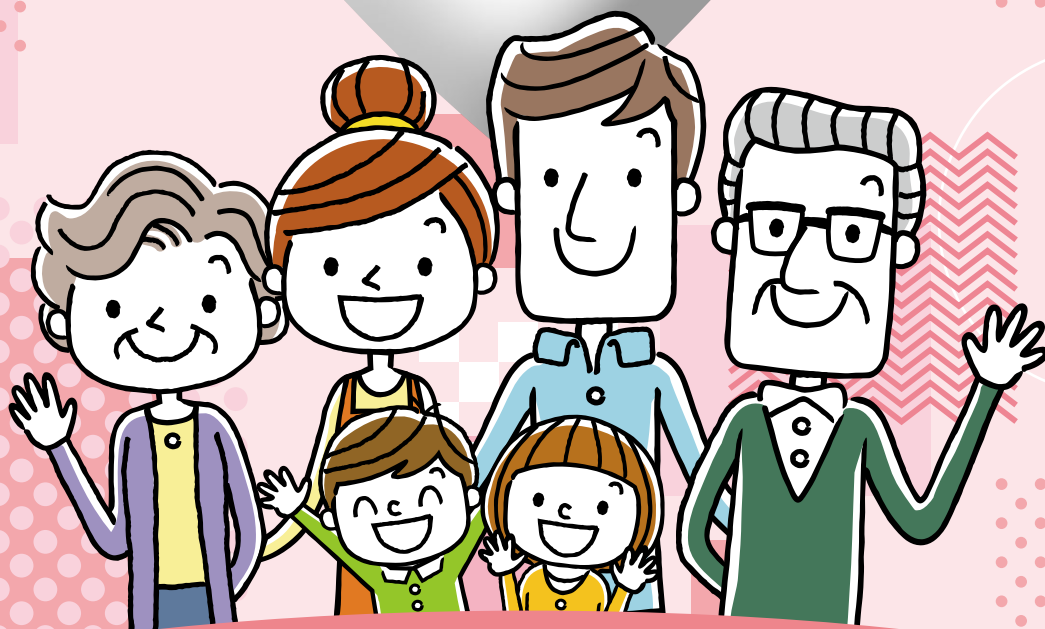


財政の しおり

(かのやの予算)



令和 6 年度版
鹿屋市 総務部財政課

財政って何だろう？

みなさんは「財政」という言葉を聞いたことがありますか？

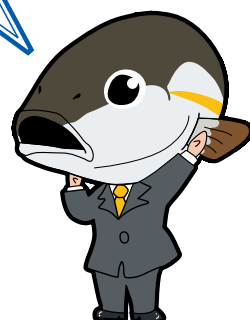
財政とは、私たちが健康で豊かな生活を送れるよう、国や地方公共団体が様々な公共サービスを提供していくために、税金などのお金を集めて、住民のための仕事に必要なお金を支払っていく経済活動のことです。

この「財政のしおり」では、「予算」や「決算」など財政の流れや仕組のほか、鹿屋市が実際に行っている仕事や財政状況について紹介していきます。

みなさんの生活と深いつながりがある「鹿屋市の財政」について、一緒に学びましょう。

目 次

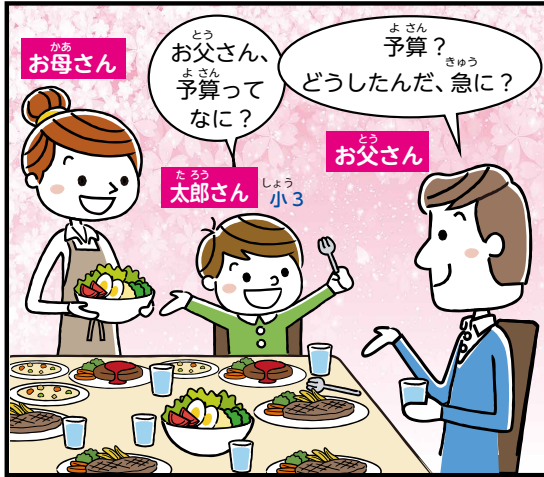
はじめての財政	2	決算のしくみ	9
予算のしくみ	3	鹿屋市の決算	10
歳入予算	5	決算からわかること	11
歳出予算	6	鹿屋市のしごと	
令和6年度の予算	7	主な事業(しごと)	14
『かのや家』の家計簿	8	財政のギモン	17
		財政用語集	18



鹿屋市 PR 特命係長
かのやカンパチロウ

はじめての財政

★ある日、太郎さんの家の食卓で...

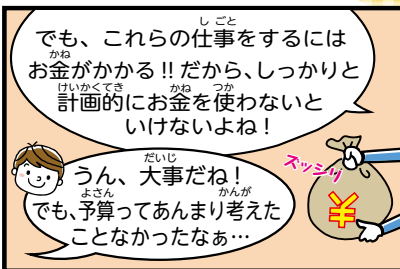


とうがくろ しどう せいび
通学路（市道）の整備

いえ で かいしゅう
家から出るごみの回収



とうがくろ こうえん せいび いえ
通学路や公園の整備、家から出されるごみの処理なども市の仕事なんだよ！



ポイント



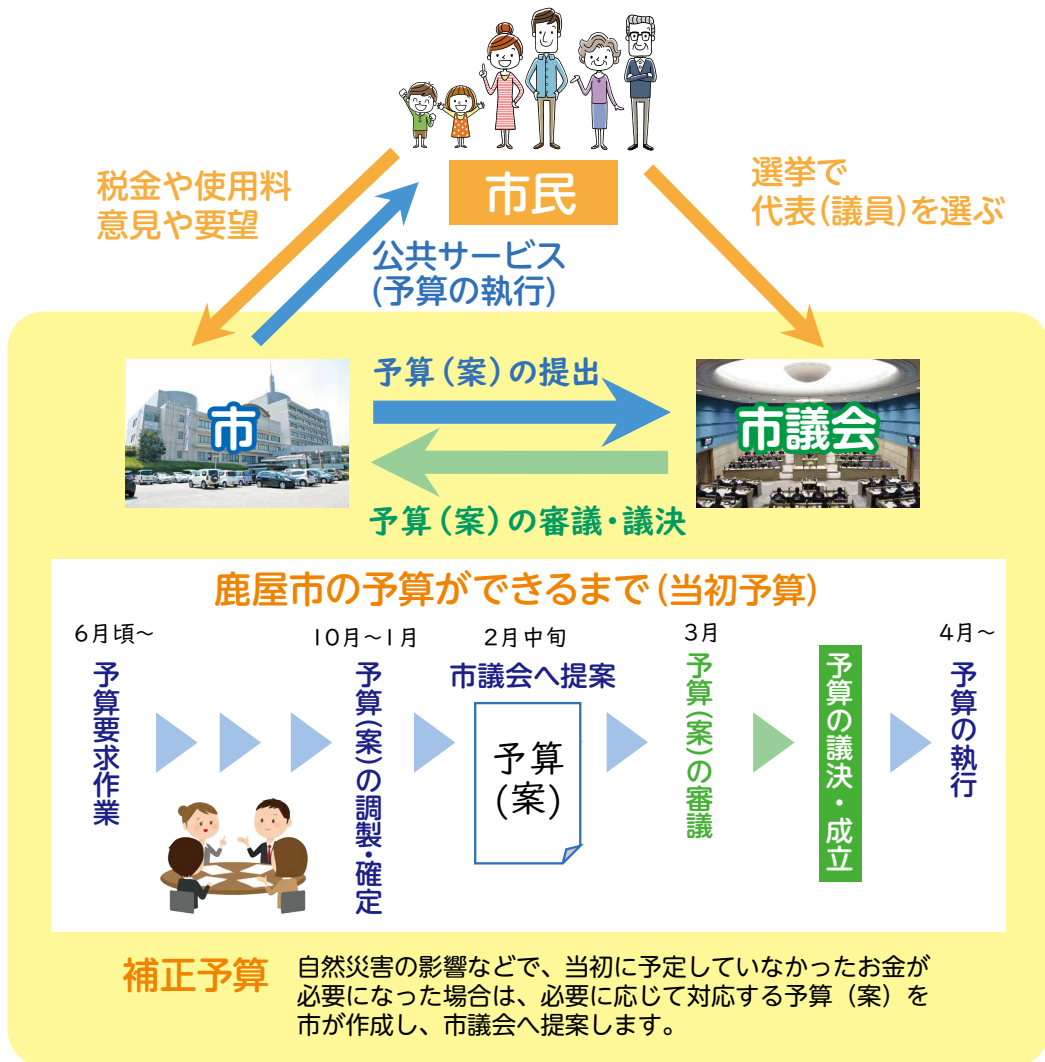
「予算」と「決算」の意味について理解しよう。

予算のしくみ



予算ができるまで

市民の安全・安心な生活を守る活動や暮らしを豊かにするための活動、将来への計画的なまちづくりのために予算が作られ、市議会へ提案されます。



予算と会計

鹿屋市の予算には、一般会計と特別会計のほか、独立採算による特定の事業を管理する公営企業会計の3種類の会計(財布)があります。

一般会計

福祉や教育、道路整備など、基本的な行政サービスに必要なお金を管理する会計。家計に例えるなら生活費に使うお金を出し入れする財布です。



特別会計

特定の目的のための会計。お金の出入りを区別するために一般会計と別にしています。

- 国民健康保険事業特別会計
- 後期高齢者医療特別会計
- 介護保険事業特別会計

公営企業会計

民間企業と同じように、利用者から料金をもらって事業を行っている会計。

- 鹿屋市水道事業会計
- 鹿屋市下水道事業会計

歳入予算 (1年間の収入)

歳入とは、収入のことです。市民のみなさんに納めていただく税金や施設の使用料のほか、国や県から交付されるお金などが主な収入となり、歳入予算として組み込まれます。

歳入予算の内訳

自主財源

市税や施設使用料など、鹿屋市が自主的に集めることができる収入



歳入科目	説明
市税	市民のみなさんに納めていただく税金
分担金及び負担金	事業に係る経費の一部を受益の程度に応じて利用者に負担していただくお金
使用料及び手数料	各施設の使用料や、証明書交付手数料など
繰入金	市の基金(貯金)からの取崩しなど
寄附金	ふるさと納税などによる市への寄附
その他	財産収入や前年度からの繰越金など

依存財源

道路や施設を建設する時に国や県からもらう補助金や、借り入れる市債など、使い道が定められた収入

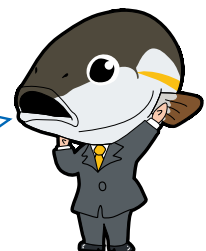


歳入科目	説明
地方交付税	すべての地方公共団体が行うべき事務の、一定の水準を維持するための財源として、国が交付するお金
国庫支出金	市の行政サービスを行うために、国や県から交付されるお金
県支出金	
市債	国や金融機関などからの借入金
譲与税・交付金 (交通安全対策特別交付金を含む)	国や県が集めた税金を各自治体へ再配分する譲与税や交付金など



自主財源 の比率が高いほど、自由に使える財源が多い。

鹿屋市は自主財源よりも依存財源のほうが多い状況です。自主財源を増やすことが鹿屋市の重要な課題だね。



歳出予算

(1年間の支出)

歳出とは、支出のことです。歳出予算は、子育てや福祉、道路・学校の整備、災害復旧などの目的に応じて使われます。歳出予算の目的を確認することで、何のために使う予算なのか知ることができます。

歳出予算 の内訳 (目的別)

議会費



議員の報酬や議会の運営費

総務費



庁舎の管理、税金の徴収、地域振興、防犯対策など

民生費



子ども、高齢者、障がい者の福祉増進など

衛生費



健康管理、ごみ、し尿の処理など

労働費



雇用対策、労働者の福祉向上など

農林水産業費



農業、林業、畜産業、水産業の振興など

商工費



商店街や中小企業の支援、観光振興など

土木費



道路、公園、市営住宅等の維持管理・整備など

消防費



消防業務、災害対策など

教育費



学校の管理運営、整備、スポーツ振興など

災害復旧費



大雨や台風などの災害復旧



公債費



施設整備などで借りたお金の返済

その他



預貯金など

【参考】鹿屋市における歳出予算の内訳(目的別)

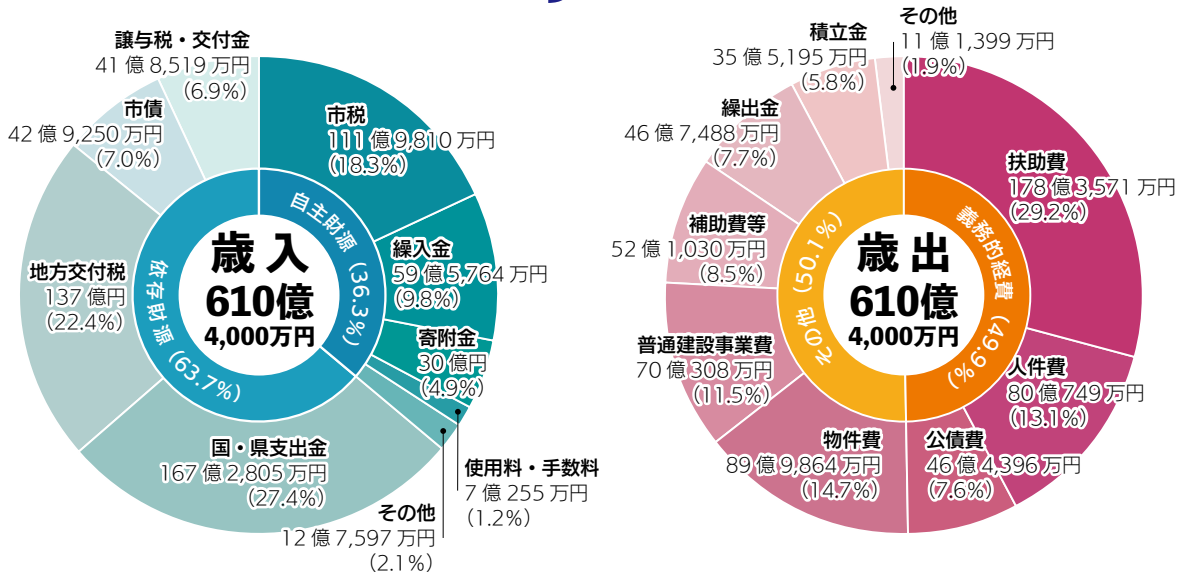
※令和6年度一般会計予算より

目的	予算額	構成比	目的	予算額	構成比
議会費	2億 8,455 万円	0.5%	土木費	39億 757 万円	6.4%
総務費	65億 7,506 万円	10.8%	消防費	14億 3,747 万円	2.4%
民生費	249億 189 万円	40.8%	教育費	77億 748 万円	12.6%
衛生費	29億 5,332 万円	4.8%	災害復旧費	5億 6,340 万円	0.9%
労働費	6,828 万円	0.1%	公債費	46億 4,396 万円	7.6%
農林水産業費	29億 7,036 万円	4.9%	その他	41億 8,001 万円	6.8%
商工費	8億 4,665 万円	1.4%	合計	610億 4,000 万円	100.0%

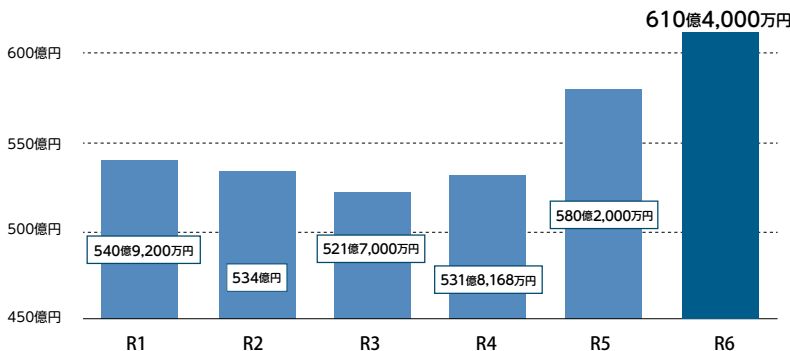
令和6年度の予算

令和6年度一般会計当初予算

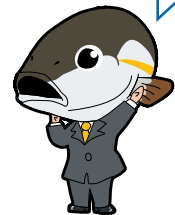
610億4,000万円



一般会計予算額の推移



一般会計予算は近年増加傾向にあり、令和6年度は過去最大規模となりました。



令和6年度特別会計当初予算

区分	R 6当初予算
国民健康保険事業	116億 740万円
後期高齢者医療	16億3,425万円
介護保険事業	116億 36万円
合 計	248億4,201万円

令和6年度公営企業会計当初予算

区分	水道事業	下水道事業
収益的收入	16億9,608万円	9億1,441万円
収益の支出	16億 79万円	8億5,958万円
資本的收入	5,249万円	3億1,222万円
資本の支出	11億6,421万円	6億4,608万円

『かのや家』の家計簿

予算について身近に感じてもらうために、鹿屋市の予算を一般家庭の家計に例えて置き換えてみました。（「『かのや家』の家計簿」）
収入と支出について、それぞれのイメージをつかみましょう。

金額は、令和6年度一般会計当初予算の額を10万分の1にしたものです。



収入

	収入内訳	(市予算上の性質区分)	金額
自主財源	給料	(市税)	112,000円
	雑収入	(使用料及び手数料)	44,000円
	⇒アルバイト代、家賃収入など(分担金及び負担金)など		
	預貯金の取り崩し	(繰入金)	60,000円
	前月の収入の残り	(繰越金)	6,000円
依存財源	親からの援助	(国庫支出金)	167,000円
	⇒使い道の決められたお金	(県支出金)	
	親からの援助	(地方交付税)	179,000円
	⇒自由に使えるお金	(地方譲与税) など	
	借入(ローン)	(市債)	43,000円

収入合計

※610,000円

預貯金の残高	(積立基金の残高合計) 令和4年度末現在高	239,000円
--------	-----------------------	----------

※端数処理のため、収入の内訳の合計額とは一致しません。

支出

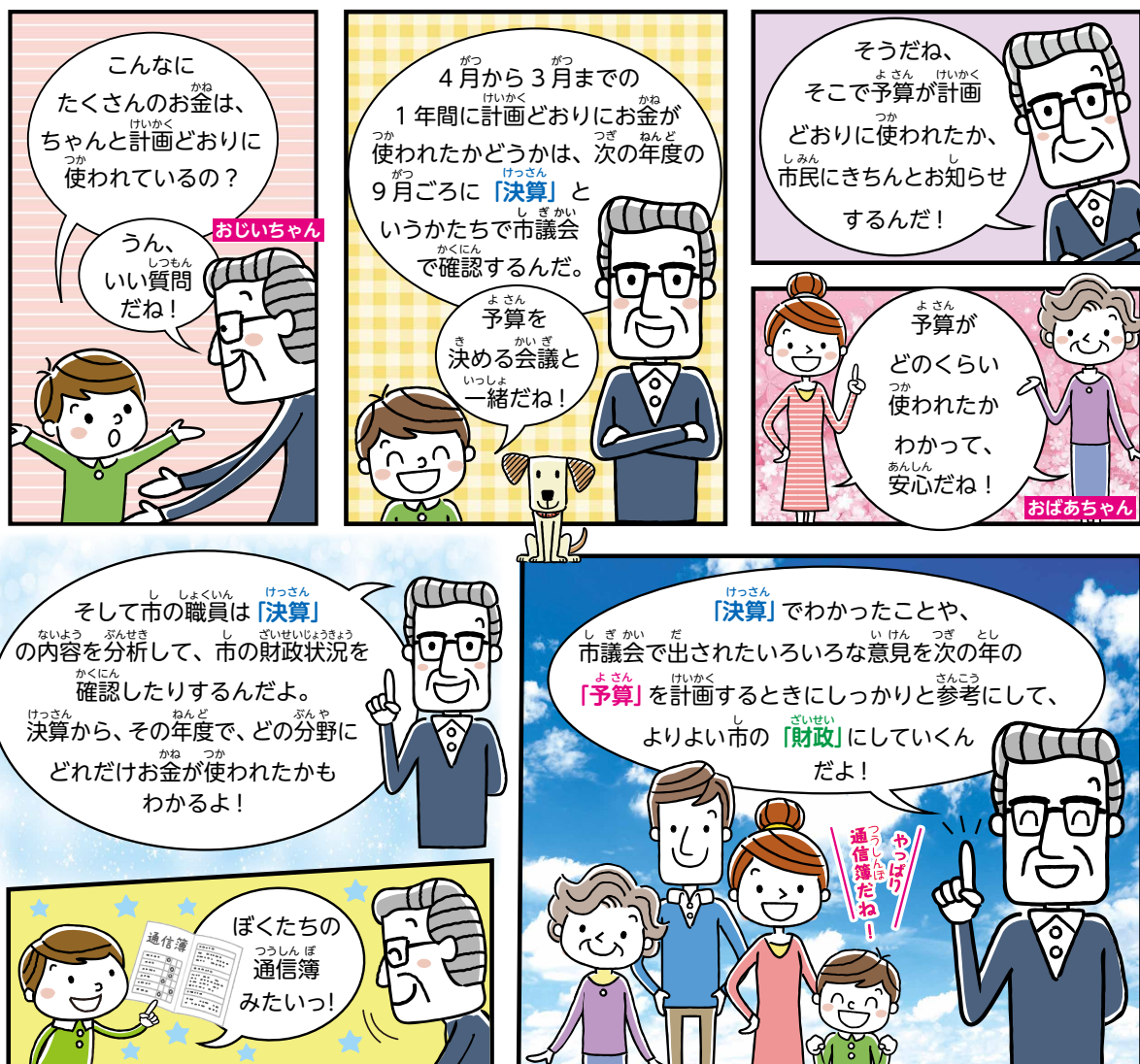
	支出内訳	(市予算上の性質区分)	金額
	食費	(人件費)	80,000円
	医療費・教育費	(扶助費)	178,000円
	家のローンの返済	(公債費)	46,000円
	家の増改築	(普通建設事業費)	70,000円
	自然災害による家の補修費	(災害復旧事業費)	6,000円
	光熱水費、日用雑貨	(物件費)	90,000円
	家や車の修繕費	(維持補修費)	4,000円
	町内会、サークル会費	(補助費等)	52,000円
	預貯金	(積立金)	37,000円
	知人に貸したお金	(貸付金)	47,000円
	子どもへの仕送り	(繰出金)	47,000円

支出合計

610,000円

ローンの残高	(市債残高) 令和4年度末現在高	377,000円
--------	------------------	----------

決算のしくみ



決算の報告と認定

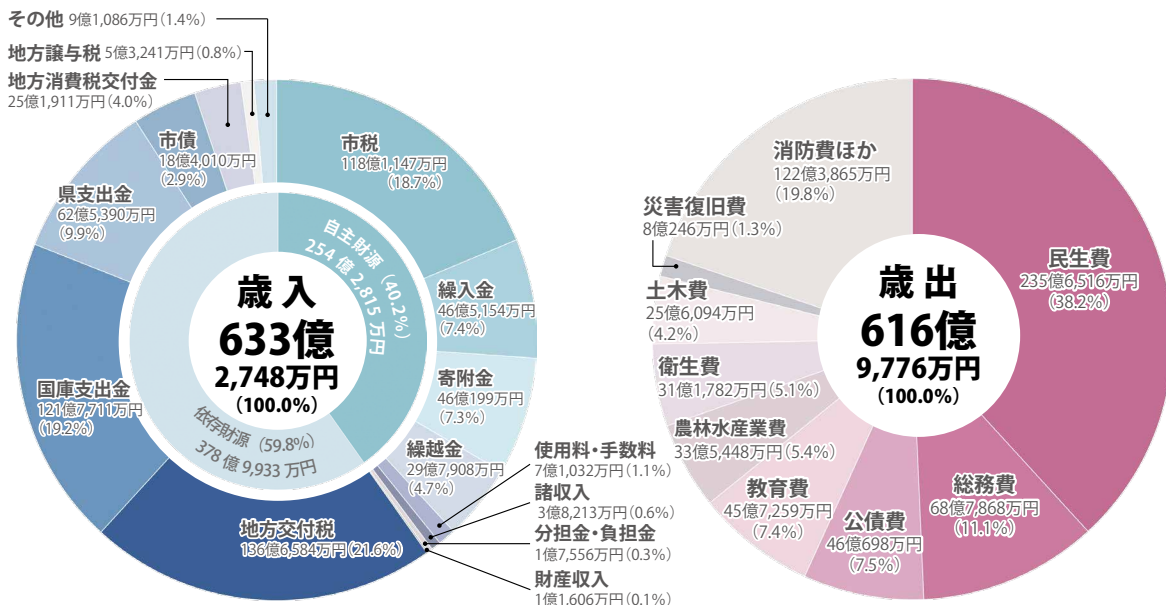
市は、予算に対する1年間の収支の結果をまとめた決算書を作成します。決算書は、監査委員の審査を受けた後、市議会の認定を受けます。認定後は、「広報かのや」や市ホームページなどで決算の内容を市民のみなさんにお知らせしています。



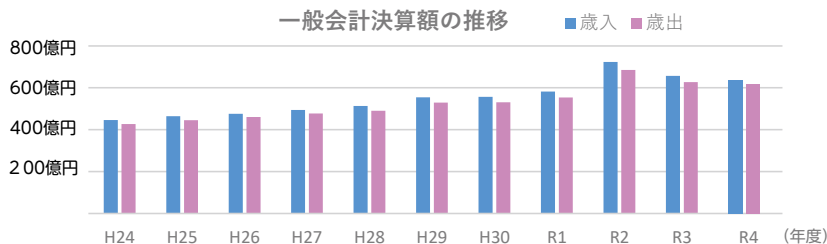
鹿屋市の決算 (令和4年度)

決算では、1年間にどれくらいのお金が入り使われたかについて知ることができます。鹿屋市の実際の決算を見てみましょう。令和4年度の一般会計では、1年間に約 633 億円のお金が入り、約 616 億円のお金が使われたことがわかります。

一般会計決算



一般会計決算額の推移



特別会計と企業会計でも、事業の収支を明確にするため、それぞれの会計で決算が行われています。

特別会計決算 (令和4年度)

会計名	歳入	歳出
国民健康保険事業	119億7,504万円	114億6,414万円
後期高齢者医療	14億7,315万円	14億6,218万円
介護保険事業	119億8,936万円	114億8,948万円

企業会計決算 (令和4年度)

会計名	収入	支出
水道事業	収益的 18億2,187万円	15億5,704万円
	資本的 3,319万円	9億 569万円
下水道事業	収益的 9億1,578万円	8億1,347万円
	資本的 3億3,434万円	6億5,625万円

決算からわかること

決算では、実際にどのような分野に、どれだけのお金が使われたかを知ることができます。鹿屋市の令和4年度決算を見ると、幅広い分野にお金が使われている中、「福祉・保健・医療」や「子育て・教育」に使われた割合が大きいことがわかります。

分野別に見るお金の使われ方（令和4年度鹿屋市一般会計決算より）

※（ ）は、市民1人あたりの額（令和5年3月31日現在 98,419人）



福祉・保健・医療に

市民の健康増進、予防接種や生活衛生など

163 億 119 万円
(165,631 円) 26.4%



子育て・教育に

子育て支援、学校教育、市立学校（小中学校、鹿屋女子高、看護専門学校）の管理運営、保育所や幼稚園などの整備・運営支援、生涯学習の推進、文化財の保護、青少年育成など

132 億 4,327 万円
(134,560 円) 21.5%



行政の運営等に

庁舎等の管理、市の計画策定、選挙、監査、議会の運営、基金の積立など

125 億 7,060 万円
(127,725 円) 20.4%



道路や学校の建設などに活用した市債の返済に

事業を実施するために借り入れた市債の償還

46 億 698 万円
(46,810 円) 7.5%



産業振興や観光の推進に

企業誘致・立地の促進、商工業の振興、雇用の促進、観光PRなど

40 億 6,966 万円
(41,350 円) 6.6%



農林水産業の振興に

農林水産業の経営体制・生産基盤の強化、農作業の省力化・生産性向上、担い手確保など

33 億 2,613 万円
(33,796 円) 5.4%



道路や住宅、公園など計画的なまちづくりに

道路や河川、都市公園、市営住宅等の整備・維持管理、都市計画など

31 億 3,692 万円
(31,873 円) 5.1%



防災、災害復旧に

消防、防災や災害復旧など

21 億 4,035 万円
(21,747 円) 3.5%



環境対策に

ごみの処理や減量・リサイクル、不法投棄防止対策など

14 億 7,827 万円
(15,020 円) 2.4%



地域の活性化に

交通対策、スポーツ振興、地域づくりや市民活動支援など

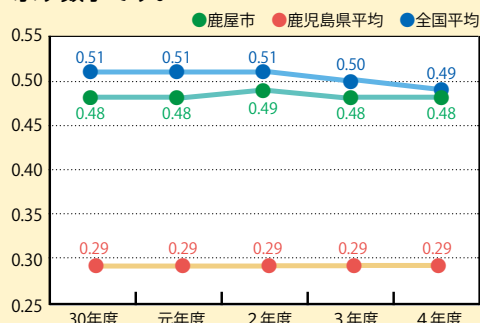
8 億 2,439 万円
(8,376 円) 1.2%

データで見る鹿屋市の財政状況

決算の結果をもとに、市の財政の豊かさを示す「財政力指数」などの財政指標が算出されます。これらのデータから、各地方公共団体の財政状況を知ることができます。

財政力指数 0.48%

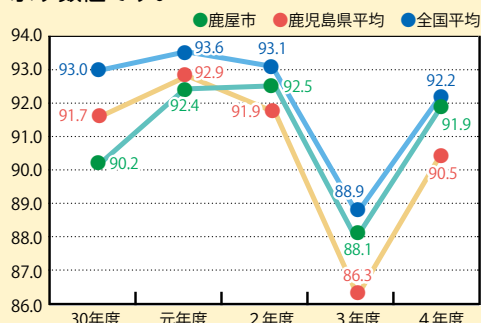
地方公共団体の財政力を判断する指標。「基本的な財政運営を行うための経費」を「市税などの独自の収入」でどれだけ賄えているかを示す数字です。



一般的に「1」に近いほど、さらに「1」を超えるほど財政力が強いとされています。

経常収支比率 91.9%

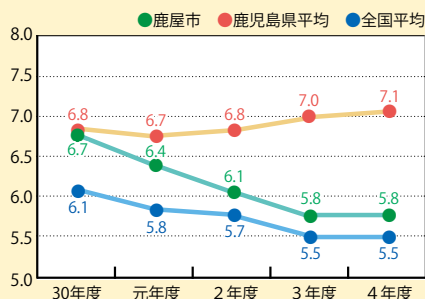
財政構造の弾力性を判断する指標。毎年度経常的に支出される経費に経常的に収入される経費がどの程度充当されているのかを示す数値です。



比率が低いほど政策的・臨時的にお金を支出する余裕のある状態を示します。

実質公債費比率 5.8%

借入金の返済額等の大きさから、資金繰りの危険度を図る指標。家計に例えると、1年間の年収に対する借金返済額の割合で、数値が低いほど財政状況は健全であるといえます。



健全化判断比率 & 資金不足比率

「健全化判断比率」は財政の健全度を診断する4つの指標です。令和4年度はいずれも国が定める基準をクリアしており、鹿屋市の財政は健全な状態にあるといえます。

指数項目	令和4年度	令和3年度	内 容
実質赤字比率	— (黒字)	— (黒字)	一般会計等の赤字の程度を示す比率
連結実質赤字比率	— (黒字)	— (黒字)	全ての会計の赤字の程度を示す比率
実質公債費比率	5.8%	5.8%	収入に対する公債費の占める割合を示す比率
将来負担比率	— 将来負担なし	— 将来負担なし	実質的な借金残高から将来財政への圧迫度を示す比率
指数項目	令和4年度	令和3年度	内 容
資金不足比率	— 資金不足なし	— 資金不足なし	公営企業会計ごとの資金不足額の事業規模に対する比率

鹿屋市のしごと

ここからは、令和6年度に鹿屋市が行う主な事業(しごと)について紹介していきます。

基本的な考え方

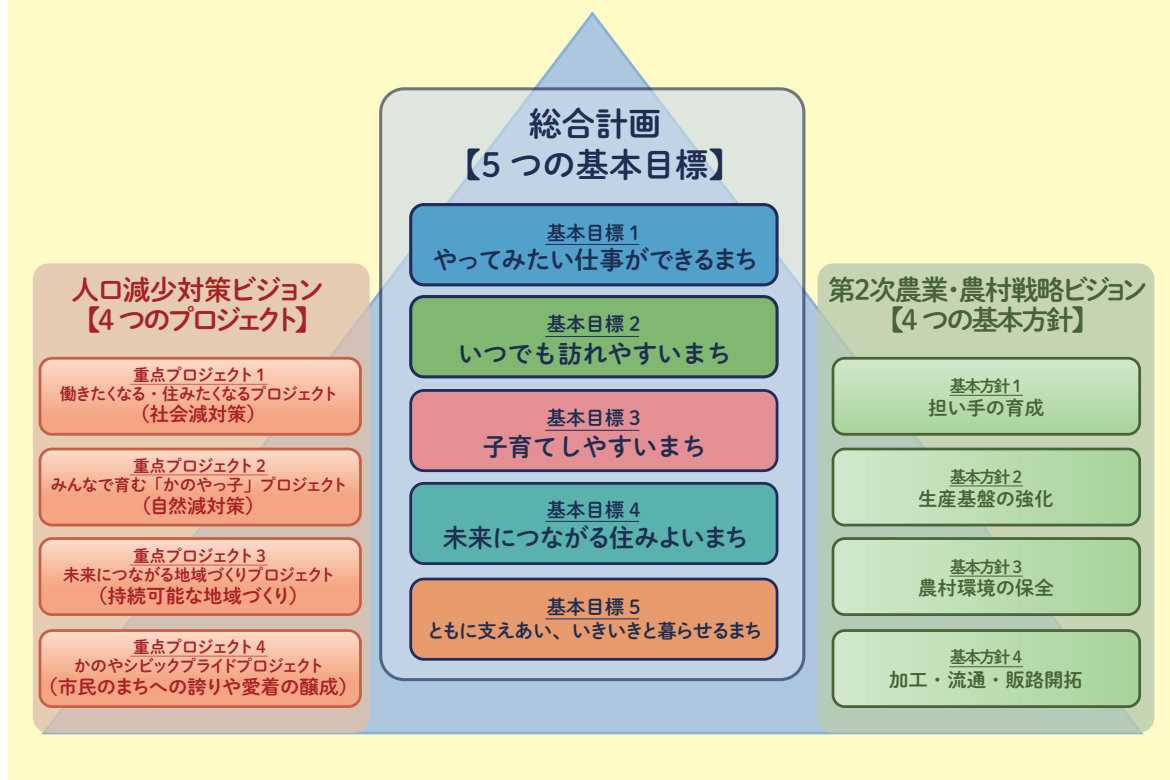
令和6年度は、第2次鹿屋市総合計画の基本構想に掲げるまちづくりの将来像

“ひとが元気!まちが元気!「未来につながる健康都市かのや」”

の実現に向け、総合計画の5つの基本目標に加え、「鹿屋市人口減少対策ビジョン」や「第2次かのや農業・農村戦略ビジョン」等に基づいた施策・事業を着実に推進します。

施策体系のイメージ

“ひとが元気!まちが元気!「未来につながる健康都市かのや」”



主な事業（しごと）

これらの事業は、第2次鹿屋市総合計画で掲げる5つの基本目標と市政運営に位置付けられています。

～令和6年度の主な事業～

【活力ある農林水産業の振興】

▶ 農地集積の加速化と大区画化の推進

（農地整備課・農業委員会）

1,153万円

地域計画に基づく農地集積の加速化や大区画化を図り、生産性の高い農業基盤の確立を図ります。

新 小規模地域の区画整理

803万円

新 遊休農地の解消に向けた支援

350万円



▶ 多様な担い手育成支援事業（農政課・畜産課・農地整備課）

204万円

集落営農組織の拡大や組織化を推進し、農業経営に取り組む地域おこし協力隊の採用等、農業の多様な担い手の確保等を図ります。

新 集落営農組織の拡大や組織化への支援

129万円

新 兼業農家等の機械導入支援

75万円

▶ 環境保全型農業の普及促進（農政課）

658万円

▶ 畜産生産基盤の強化（畜産課）

2億6,975万円

▶ 家畜伝染病防疫対策（畜産課）

1,236万円



基本目標

【予算額】19億919万円

やってみたい仕事ができるまち

農林水産業の振興や、商工業の活性化、雇用促進への取り組み

【商工業の振興と雇用の促進】

▶ 中心市街地の活性化（商工振興課）

302万円

地域特性を生かした商店街等の活性化に向けた様々な取り組みを実施し、魅力ある商店街づくりを支援します。

新 空き店舗改修費用支援 302万円



▶ リナシティかのやの利用促進（商工振興課）

1,174万円

リナシティかのやに整備したコワーキングスペースを活用し、異業種交流やテレワーク拠点とした多様な働き方を推進します。

新 コワーキングスペースの利用促進

1,124万円

新 親子仕事体験イベントの開催 50万円



▶ 産業用地の確保（政策推進課）

5,071万円

【地域資源を生かした観光の推進】

▶ かのやの魅力ある観光（ふるさとPR課・商工振興課 ほか）

2,000万円

本市の地域資源を実際に体験してもらい、再び訪れたいくなる魅力的な観光地づくりを推進します。

新 人流分析ツールの導入 594万円

新 戦後80年に向けた仕掛けづくり

1,166万円



基本目標

【予算額】42億435万円

いつでも訪れやすいまち

地域資源を生かした観光振興、スポーツによる交流促進、移住・定住の推進

【スポーツによる交流の推進】

▶ スポーツイベントの開催（市民スポーツ課）

1,066万円

燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会を契機としたレガシー大会を開催し、本市の競技力向上の取り組みを支援します。

新 かごしま国体・かごしま大会レガシー大会の開催 1,066万円



▶ 新たなスポーツ施設の整備（市民スポーツ課）

17億7,753万円

市民がスポーツに親しみやすい環境づくりや各種大会、スポーツ合宿誘致による交流を促進するために、スポーツ施設の整備を行います。

新 野里運動施設の整備

17億7,753万円



【移住・定住の推進】

▶ 移住・定住の促進に向けた取り組み（地域活力推進課）

1,430万円

地方での生活や地域づくりに興味のある都市住民をターゲットとした「かのやローカルチャレンジスクール」の開催や移住支援制度の再構築を行うなど、関係人口の創出と移住・定住の促進を図ります。

新 かのやローカルチャレンジスクールの開催

400万円

新 移住支援制度の推進

1,030万円



鹿屋市のしごと

～令和6年度の主な事業～

【子育て支援の充実】

▶ 学校給食の完全無償化（学校教育課） 4億9,989万円

子育て世帯の経済的負担を軽減するため、小・中学生の学校給食費の全額を支援します。

〔新〕小中学校の学校給食費無償化 4億9,989万円



▶ 妊産婦の産前・産後支援（こども家庭課） 1,116万円

母親の心身のケアの充実を図り安心して産み育てることができる環境や支援体制を整備します。

〔新〕初回産科受診料の負担軽減 800万円

〔新〕産後ケアの充実 316万円



▶ 子どもの医療費等の負担軽減（健康増進課・子育て支援課） 2,798万円

13歳未満の子に対する2回目のインフルエンザ予防接種の推進や子ども医療費無償化の対象を拡大する等子育て環境を整備します。

〔新〕インフルエンザ予防接種費用の負担軽減 2,475万円

〔新〕子ども医療費の支援拡大 323万円



基本目標

【予算額】 35億2,486万円

子育てしやすいまち

子どもを産み育てやすい環境づくりや、心豊かで
たくましい人づくりの推進

【未来につながる教育の充実】

▶ グローカル人材の育成（政策推進課・学校教育課） 191万円

英語の重要性が高まる中、英語教育を通して、国際社会で活躍できる人材を育成します。

〔新〕イングリッシュカフェの開催 56万円



▶ 誰でも学べる市民講座（生涯学習課・デジタル推進課） 443万円

市中央公民館の一部機能がリナシティかのやへ移転することに伴い市民ニーズの高い講座メニューの追加など、誰もが学びたい市民講座の充実を図ります。

〔新〕子どもから大人までを対象とした市民講座の開催 443万円



【快適な生活基盤づくりの推進】

▶ 道路整備事業（道路建設課・農地整備課） 13億614万円

都市計画道路や主要幹線道路・農道などを整備するとともに、老朽化した舗装・側溝の修繕や除草伐採等を実施します。

〔新〕都市計画道路の整備 7,500万円

▶ コミュニティ交通の見直し（地域活力推進課） 307万円

輝北地域における「くろりんバス」の運行廃止を含めた見直しを進め、乗合ワゴンによるデマンド交通実証運行を行います。

〔新〕輝北地域コミュニティ交通のデマンド化 307万円



基本目標

【予算額】 49億7,377万円

未来につながる住みよいまち

住環境の整備、安心して暮らせる地域や自然環境に
やさしいまちづくりの推進

【安全で安心な生活の実現】

▶ 防災対策事業（安全安心課・建築住宅課） 4,296万円

地震発生時の家屋倒壊等による被害軽減のため、家屋耐震化の促進や防災意識の向上を図ります。

〔新〕家屋耐震モデル地域学習会の開催 46万円

〔新〕耐震改修の支援 4,250万円



▶ 雨水・排水対策事業（都市政策課・道路建設課・農地整備課） 5億2,033万円

浸水被害の軽減に向けた対策を検討し、幹線排水路等を整備することで浸水・冠水箇所の改善を図ります。

〔新〕雨水・排水路の整備 5億1,699万円

〔新〕笠野原台地における浸水解析モデルを用いた浸水対策の検討 334万円



【自然環境にやさしいまちづくりの推進】

▶ 環境対策推進事業（生活環境課・畜産課） 6,137万円

「ゼロカーボンシティかのや」の実現に向けた取り組みの推進や「臭い」の種類・発生源の特定に向けた調査を実施し、臭気の低減に向けた取り組みを推進します。

〔新〕脱炭素社会に向けた取り組みの推進 5,622万円

〔新〕畜産環境対策の強化（臭気測定・分析） 515万円



～令和6年度の主な事業～

【地域福祉の充実】

▶ 地域共生社会の実現（福祉政策課） 4億1,807万円

高齢者・障がい者・子ども・生活困窮者等を世代・属性を問わず一体的に支える「地域共生社会」づくりを目指します。

④ 重層的支援体制整備事業の推進
4億1,807万円



【共生協働・コミュニティ活動の推進】

▶ 地域コミュニティの充実（地域活力推進課） 30万円

地域活動の基盤である町内会の業務や活動の効率化を推進するとともに、住民のデジタル活用スキルの向上を図ります。

④ 町内会アプリの実証導入 30万円



▶ 市民メンバーによる新たな情報発信体制の構築（政策推進課） 24万円

市民から「かのや特派員」を募集し、まちの取材やSNS・広報誌を活用した広報を行うなど、新たな情報発信体制を構築します。

④ かのや特派員による魅力発信 24万円

基本目標

【予算額】14億3,518万円

ともに支えあい、いきいきと暮らせるまち

地域福祉の充実や、健康・生きがいづくり、地域コミュニティ活動の推進

【健康づくり・生きがいづくりの推進】

▶ みんなで楽しむ健康づくり（市民スポーツ課） 50万円

生涯にわたって日常的にスポーツに親しみ、ライフステージに応じたスポーツ活動を推進します。

④ 新市民ウォーキングイベントの実証開催
50万円



▶ 生涯学習・社会教育の推進（生涯学習課） 603万円

自ら主体的に学習できるよう学習情報や学習機会の提供、学習成果活用の環境づくりなどに努め、豊かな地域社会の実現を目指します。

④ 新おおすみ総文祭の開催 531万円



▶ ④ 新地域おこし協力隊の活用

（農政課・林務水産課・吾平総合支所産業建設課） 1,225万円

地域おこし協力隊員を新たに募集し、それぞれの地域協力活動を行いながら任期終了後の地域への定住・定着を図ります。



▶ 行政事務のデジタル化（デジタル推進課） 3,061万円

鹿屋市DX推進計画に基づき、デジタル技術を活用して「便利で快適な行政サービスの提供」や「行政運営の効率化」「デジタル化基盤の整備促進」を図ります。

④ DX推進本部CXO補佐官の登用 500万円

④ ファイリングシステムの導入 2,561万円



▶ 提案型広聴ツールの導入（政策推進課） 5万円

▶ 職員の資格取得助成制度の拡充（総務課） 100万円

▶ 組織機構の改正等（総務課）

産業立地推進室、こども家庭センターの設置 など

市政運営

【予算額】1億4,551万円

効率的・効果的な行政サービスの提供

デジタル技術等の活用による利便性向上や、業務効率化、デジタル人材の育成

【効率的・効果的な行政サービスの提供】

▶ ④ 新第3次鹿屋市総合計画の策定（政策推進課） 913万円

新たに「第3次鹿屋市総合計画」を策定し、デジタル技術等を活用した効率的な行政運営に努めます。また、市政への関心を深めていただくため、市内4地域で市政報告会を開催します。



▶ ④ 新公共施設予約システムの導入（デジタル推進課） 169万円

インターネットからいつでもどこでも公共施設の利用予約ができる施設予約システムの運用を開始します。



財政のギモン

予算の4割を占める

Q

民生費って何に使われるの？

A

民生費とは、高齢者福祉や医療、保育費などに使われるお金のことで、市の一般会計予算の約4割を占めています。民生費は、安心して子育てをするための環境整備や、障がい者の日常生活及び社会生活を支援するための取組、高齢者が充実した生活を送るための支援などを中心に使われています。



子育て支援

約106億円

- 保育所等の運営費
- 保育料の軽減
- 子ども医療費の助成
- おむつ等助成券の配付 など



高齢者支援

約43億円

- 介護保険、後期高齢者医療事業に要する経費（特別会計繰出金）
- 高齢者等訪問給食サービスの実施 など



障がい者支援

約60億円

- 自立を支援する各種障がい福祉サービスの実施など



その他

約40億円

- 国民年金・国民健康保険事業に要する経費や生活保護費など

※金額は、令和6年度一般会計予算をもとに算出

Q

どうして借金（市債）をするの？

A

学校や道路などの公共施設を整備するには、一時的に多くのお金が必要です。この費用をその年の収入だけで賄おうとすると、他の必要な公共サービスに使うべき費用が足りなくなります。公共施設は将来の市民も利用することから、世代間での負担の公平性を図るために、市債（借金）を活用しています。

もし、学校の建て替えに必要なお金を一度に支払ってしまうと…



学校の運営管理、通学路の整備、ごみの回収など他の仕事に必要なお金が足りなくなるかもしれません。

市債を使わないと…

現在の市民が建設の費用を全額負担し
将来の市民は負担なし

その年の市民にだけ、大きな負担をお願いすることになってしまいます。

市民負担

現在の市民

市民負担

将来の市民

市債を使うと…

将来の市民負担分

将来の市民も平等に建設の費用を負担

市民負担

市民負担

市民負担

市民負担

現在の市民

将来の市民



私たちの教育に使われている 教育費はどうなっているの？

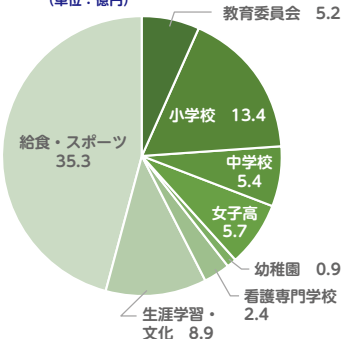


教育費とは、教育委員会の運営や、市立の小中学校・女子高、看護専門学校で使う物品の購入や修繕、校舎の建設や改修などの学校の管理のほか、文化・スポーツの振興などに使われているお金のことです。

教育費(約77.1億円)の内訳

(令和6年度)

(単位: 億円)



小学校の管理運営にかかる予算 (総額 13.4 億円)

○児童 1 人あたりの教育費 (令和 6 年度小学校費)



年間	約217,500円
月額	約18,100円

※鹿屋市内の児童数 6,137 人 (令和 6 年 5 月 1 日現在)

中学校の管理運営にかかる予算 (総額 5.4 億円)

○生徒 1 人あたりの教育費 (令和 6 年度中学校費)



年間	約171,500円
月額	約14,300円

※鹿屋市内の生徒数 3,125 人 (令和 6 年 5 月 1 日現在)

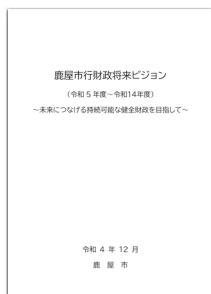
財政用語集

	用語	用語説明
歳入に関すること	一般財源	市税や地方交付税など、使途が特定されずに市が自由に使い道を決められる収入のこと。
	特定財源	使い道があらかじめ決められている収入のこと。国から交付される国庫支出金や県から交付される県支出金、市営住宅や市施設の利用料など。
	市税	市に納められる税金。市民税、固定資産税、軽自動車税、市たばこ税、都市計画税など。
	地方交付税	地方税収の差などを調整するために、財源が足りない地方公共団体に対して国から交付されるお金。「普通交付税」と「特別交付税」があります。
	国庫支出金	市が行う特定の事業に対して、国から交付されるお金。
	県支出金	市が行う特定の事業に対して、県から交付されるお金。
歳出に関すること	義務的経費	一般会計の歳出のうち、人件費、扶助費、公債費の 3 つを合わせたもの。毎年支出が必要となる固定的な経費。
	人件費	職員の給料や、退職手当などを合計したもの。
	扶助費	児童手当、生活保護、保育所・認定こども園などの運営、医療費の援助など、主に福祉や医療に必要な費用。
	公債費	公共施設の建設などのために借り入れた市債の返済などに要するお金。元金と利子、市債発行や返済にかかる手数料なども含む。
その他	基金	自治体の貯蓄のことで、それぞれ目的をもって積立・取崩が行われています。 【鹿屋市の主な活用基金】 ふるさと鹿屋応援基金、地域振興基金、財政調整基金など
	市債	長期間にわたって使われる道路や公園など、公共施設の整備や保全・更新の事業のために借り入れるお金。 【参考】 令和 4 年度末の市債残高: 376 億 5,445 万円
	ふるさと納税	自分が応援したい自治体に寄附を行うと、特産品等の返礼品や税額控除を受けられる制度です。鹿屋市では、全国から集まった寄附金を「ふるさと鹿屋応援基金」として積み立て、次年度に地域活性化、健康、福祉、環境保全、教育・文化・スポーツ振興など、市の様々な事業に活用しています。 【参考】 鹿屋市のふるさと納税寄附金額 45 億 8,735 万円 (令和 4 年度)



▲ふるさと納税について
(鹿屋市ホームページ)

鹿屋市の財政について調べる



▲「鹿屋市の財政状況」
(鹿屋市ホームページ)

鹿屋市行政財政将来ビジョン
(R5～R14)

鹿屋市の情報を知る



▲鹿屋市総合アプリ「かのや
ライフ」で、市からのお知
らせやイベント情報など発
信しています。